

2025年度くまもと文学・歴史館企画展

# お姫さまのひみつ

## 顕光院 益姫と砂取細川邸

2025年 10月3日(金) — 11月16日(日)

●休館日／火曜日、10月31日(金) ●開館時間／午前9時30分～午後5時15分

【主催】くまもと文学・歴史館、熊本県立図書館

【特別協力】公益財団法人永青文庫、熊本大学附属図書館、

熊本大学永青文庫研究センター

入館無料



勇姫筆 和歌短冊 1860年頃  
公益財団法人 永青文庫蔵  
(熊本大学附属図書館寄託)



10代熊本藩主 細川斉護正室 益姫 肖像(部分) 19世紀 公益財団法人 永青文庫蔵



桜唐草蒔絵文箱 19世紀 個人蔵



くまもと文学・歴史館  
Kumamoto Museum of Literature and History



旧砂取細川邸庭園と江津荘 1954-55年頃 井上敏明氏撮影

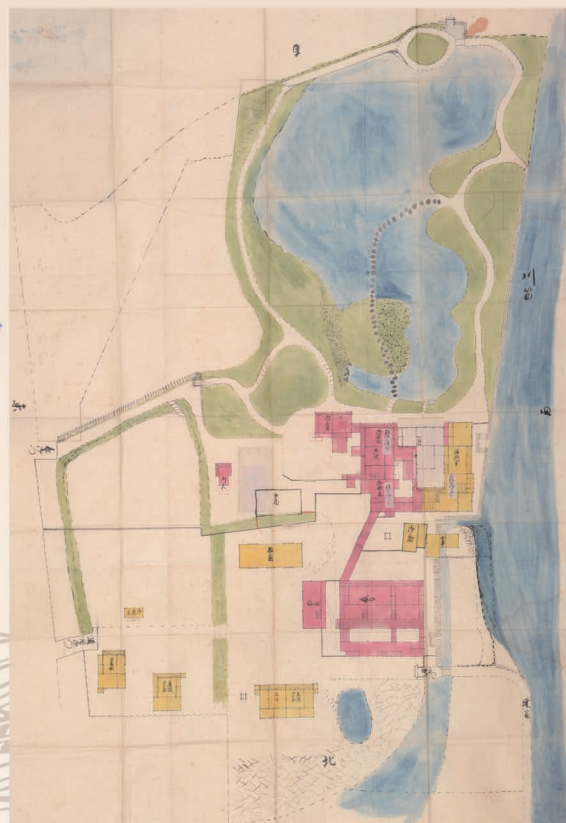
# 熊本にきたお姫さま

細川家に伝わる晩年の写真  
顕光院肖像写真 1870-75年頃 推定 ※



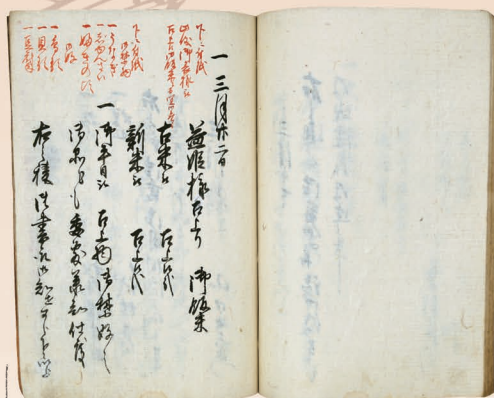
今から約160年前、江戸から熊本にやってきたお姫さまがいました。彼女の名まえは、益姫（のち、顕光院）。広島藩主・浅野斉賢の娘である益姫は、20歳の時に熊本藩主・細川斉護と結婚しました。益姫は、細川家の正室として江戸でくらし、和歌や生花などを学びながら、子女の養育に力を尽くします。幕末に熊本へ移り住み、明治維新後には江津湖畔の砂取細川邸（跡地に）くまもと文学・歴史館に居をかまえました。当館の隣には、清らかな湧水をたたえるお庭の池が、今も遺されています。

幕末から明治に至る、激動の時代を生き抜いた益姫。大名家のお姫さまの一生とは、どのようなものだったのでしょうか。益姫の没後150年にあたるこの機会に、その生涯をたどりながら、知られざるお姫さまの姿をひもときます。



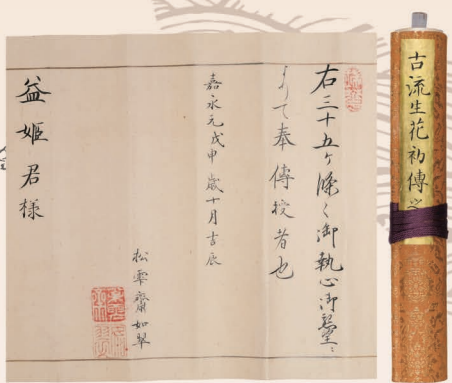
## お姫さまの結婚

食べ物の好きにまで気づかいを  
御縁組一件帳 1826年9月※



## お姫さまのやくめ

生花や和歌を学ぶ  
古流生花初伝之巻 1848年10月※



## 関連イベント

- 要申込 ○申込先: TEL 096-384-5000 (代表)
- 受付時間: 午前9時30分から午後5時 ○定員: 100名 (申込み先着順締切)

### ①講演会

くまもと「顕光院 益姫の国許すまい〜二の丸御屋敷と砂取細川邸」

- 講師: 小粥祐子 (崇城大学工学部 建築学科 准教授)
- 日時: 10月26日 (日) 13時30分〜15時
- 場所: 熊本県立図書館3階 大研修室

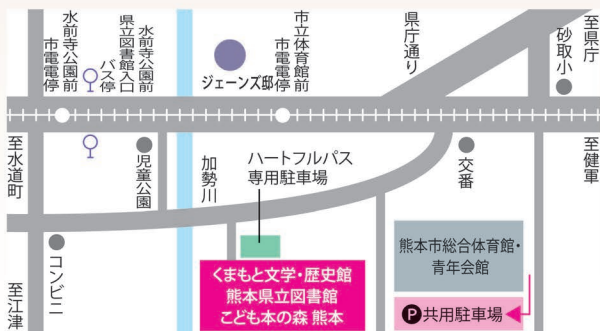
### ②講座「顕光院 益姫と細川家の奥」

- 講師: 深瀬はるか (展示担当学芸員)
- 日時: 10月19日 (日) 13時30分〜15時
- 場所: 熊本県立図書館3階 大研修室

### ③ギャラリートーク

- 日時: 10月4日 (土)、11月2日 (日)
- いずれも13時30分〜14時
- 場所: くまもと文学・歴史館ロビー集合

お姫さまのお庭  
現在ものこる、江津湖畔のお庭  
砂取邸御絵図 1874年4月※



- JR熊本駅から路面電車(市電)で約40分 (JR新水前寺駅から路面電車(市電)で約10分)「市立体育館前」下車徒歩約5分
- バス「水前寺公園前・県立図書館入口」下車徒歩約5分
- 駐車場: 熊本市総合体育館・青年会館駐車場(共用)
- ハートフルバスをお持ちの方は、図書館北側の専用駐車場をご利用ください。
- 駐車場に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

次回企画展のテーマは、  
“神風連150年”です。お楽しみに！  
2026年1月23日(金)〜3月8日(日)

くまもと  
文学  
歴史館

熊本市中央区出水2-5-1  
TEL 096-384-5000 (代表)  
FAX 096-385-4214  
<https://www2.library.pref.kumamoto.jp/bunreki>  
くまもと文学・歴史館 検索